

# 三エリアに分けて再整備

神戸市の王子公園では、来月下旬に弓道場の建て替え工事に着手するほか、王子動物園サバンナゾーンの造成工事が完了するなど再整備事業が着々と進んでいる。2022年策定の「王子公園再整備基本方針」「王子動物園リニューアル基本構想」を基に進められているこの事業では、神戸市灘区王子町にある同公園を大きく「動物園ゾーン」「スポーツゾーン」「大学ゾーン」の三つのエリアに分けて再整備する。



「クロスアップ」のオープンを目指している。設計は大

・イーデザインJVが設計施工を担当。同JVは駐車場や「緑の広場」の整備も併せて実施する。27年度内に着工する。28年に駐車場、29年春に緑の広場、30年春に新スタジアムを供用させる予定だ。

スポーツゾーンでは、弓道場の建て替えも行う。施工は溝口建設が担当し、近く着工する。設計は昭和設計・オフィスヨシキ・Y Y A J V が担当した。完成は27年春を予定している。

同時に整備する「緑の広場」は、池の整備や、シンボルツリーを配置するほか、以前は駐車場を利用して行っていた地域のイベントを行うなど、公園の玄関口として、さまざまな用途で活用することを想定している。

大学ゾーン(3.5ha)には、25年9月に神戸市から用地を取



シンボルプロムナードのイメージ

## 神戸市 王子公園、動物園再整備事業

シアム)の解体工事を竹中土木の施工で進めている。工期は5月末までを予定している。

三つのゾーンのほかに、公園を縦断するシンボルプロムナードも整備する。桜を新たに植樹し、本数を増やして魅力的な歩行者専用園路を演出する。災害時には緊急車両の動線としても活用できるように道幅も確保する。

得した関西学院大学が新キャンパスの整備を計画している。「地域・社会・世界のさまざまな人、情報が行き交うプラットフォームキャンパス」をコンセプトに学生数4000人、教職員200人規模のキャンパスを29年度から31年度の間に供用させる予定だが、施設規模や着工時期など詳細は明らかにしていない。現在既存施設(王子スタ

また、魅力や利便性の向上と、効率的・効果的な公園運営を目的に「公園の維持管理・運営・にぎわい創出のPPP/PFI導入可能性調査」を、日本工営都市空間に委託している。委託期間は3月末まで。

## 魅力的な歩行者専用園路を演出

